

京都産業大学は、昨年、創立五十周年を迎えました。世界遺産である上賀茂神社の神域である神山（こやま）の麓にあり、キャンパスでは、四季折々の木々に加えて、運が良ければ？鹿や猿などにも出会うことができる、自然に溢れた大学です。学生数は、約一万三千人で、八学部二十一学科（二〇一七年四月より一学部二学科新設予定）と十研究科のすべてが、「ワンキャンパス」にあり、学部の壁を越えて、全ての学生・教職員が自由に行き来できることは大きな強みです。創設者・荒木俊馬先生は宇宙物理学者であったことから、私学では国内最大の望遠鏡を有する神山天文台があることも、自慢の一つです。

私は、「ホスピタリティ」をテーマとするゼミを担当しています。サービス産業だけではなく、あらゆる産業、あらゆる社会において必要とされている「ホスピタリティ」の重要性を学ぶことと、ホスピタリティを発揮する上で欠かすことのできないコミュニケーション力を身につけることを目標としています。自信をもって、適切なコミュニケーションを取ることができる力、自分の意思や意見を正しく伝えることができる力、これから社会に出て行く学生にとって、必須の要素です。適切に自分の気持ちを相手に伝えるためには、適切な日本語力が求められます。また、私が所属する外国語学部では、私学としては最多の十言語を学ぶことができ、私のゼミにも英語をはじめ、イタリア語や韓国語を学ぶ学生がいます。様々な言語を学ぶ上でも、適切な日本語力は前提だと言えます。ゼミの授業では、プレゼンテーションやディスカッションの実習を重ねるなど様々な手法でコミュニケーション力の向上を図っています。学生達が自分の具体的な日本語力のレベルを知る機会がありませんでしたので、今回日本語検

日本語検定を活用してコミュニケーションスキルの向上を

～京都産業大学 外国語学部 英語学科 特定任用教授 若田加寿子氏～



若田 加寿子 わかた・かずこ

全日本空輸株式会社に客室乗務員として入社。その後、教官や管理職として、客室乗務員の育成、部門の品質向上に携わり、(株)ANA 総合研究所に出向。現在、京都産業大学外国語学部 特定任用教授として、エアラインビジネスやサービス、ホスピタリティを教えている。
共編著に「航空とホスピタリティ」NTT 出版株式会社



ゼミ生達と

定を受けることにしました。日本語検定は、敬語だけではなく文法や語彙など、六つの領域から幅広く出題されていることから、自分達の客観的なレベルを知ることができました。

受検結果である「個人カルテ」が返却されて、悲喜こもごもでした。自信を得た者、ショックを受けた者、それぞれが自分の課題を把握することができ、今後の具体的な目標を立てることができたことは、大変有意義でした。自分で考え、自分の意見を持ち、それを適切に伝えることができる学生を、今後も引き続き育てていきたいと思っており、そのツールの一つとして、日本語検定を活用し、今後もコミュニケーションスキルの向上を図っていきたいと思えます。